

なきごえ



1975

4

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

—アフリカ生活— 莊保 忠三郎

今住む辺りは郊外電車で都心から30分程の小さな山の麓で幸、後方が国有林であるため、戦後の開発からも残された谷間の小住宅地である。然し昨年当りから蛇やもぐらも、めっきり出なくなり、緑にとり囲まれて居るが鳥の声も稀れで空からの爆音に明け暮れる有様である。左右の山が切り取られて山奥迄開発され、遠巻き乍ら周囲の環境ががらりと変わった為であろう。それに引き替え、つい先年居たアフリカでの生活は、人口30余万の首都郊外だったが、自然との触れ合いは緑に乏しいブッシュ乍ら動物を通じて活々としていた。毎朝庭のブーゲンビリアで夜を過す鳥の鳴き声で目を醒ます。庭ではデッキデッキ、シルピカプラ合して11頭が薄明りの一時家の周りを超スピードで駆け廻る。

仲良しの犬とチーターを連れた朝の散歩では大きな穴に住む針鼠を訪ねる。時には大きな陸亀にも出会う。陽の出と共にブーゲンビリアやジョブの枝々に青、黄、赤、色鮮やかな小鳥たちが響く声で賑々乍ら花の蜜を吸う。学校では日によって街道で事故死した色々の動物の死体が待つ。開発中の校庭では置き去りにされた生まれたてのデッキの子や大とかげが捕る。近所の百姓が愛驢馬の鼻づらを咬んだ大マムシを怨みを晴らして持ち込む。山羊を咬み殺した「リンクス」も金網で生け捕りにされる。ブッシュの間の畑を荒したドンファ(イボ猪)の1家5頭が1度に仕掛けた深穴に捕る。外見は縞ハイエナに似た土狼の死体に来る。鶏を襲った背白穴熊、ジャカル、マングースも夫々死体で届けられる。狩猟で暮すアエレ族が生け取った動物たちを売りに来る。夕刻になると運動場の周りの砂地にフランフル※の砂を掘り出すのが方々に見える。夕闇と共に校庭にアルドヴァーク(土豚)が出没する。帰路車のヘッドライトに二つギラギラ光って見えるのはクロアシ猫かマングース。家でひと休みしていると110番張りの車が来て、港内に怪獣が出没したので出馬を乞うと言う。行って見ると何の事はない紛れ込んだハイエナである。既に打ち殺されて見るも無惨な姿。

ソマリー人の嫌うミミヅクの声で1日が終る。

上記は開発途上にある世界で最も貧困な国の首都周辺の実態である。増える人口と共に開発が進み、野生動物が住み馴れた地域から姿を消す。象や大型肉食獣は外来の狩猟家や毛皮商の対照となる



ので現住民との関係以外の大きな因子が決定的に其の生存を左右する。先進国と呼ばれる余裕ある国々の知識人、動物愛好家によって唱えられる「野生動物保護保存、の絶叫も、日々野獣と生活を共にする後進国と呼ばれる住民の中でも、今尚、特に惨めな暮らしをする野獣生息地域の居住民への配慮がなされない限り実効は期待されない。現に今日野生動物保護を称える国の人達も、且つては野生動物を現住地域に於て絶滅或はその寸前に迄追いやり、中には居住地を遠く離れ外洋に迄漕ぎ出し海生の動物さえも絶滅せしめた記録を持つ無慈悲、勇敢な人々の子孫であり、夫等の国々の過去の歴史を参考に現実的な方策を打ち建てるのが賢明である。

※『フランフル』とソマリヤで呼ばれるもぐら様の動物は軽く草の生えた砂地に穴を掘って生棲するが、夕刻散歩の時等地上20〜30糎の高さまで砂をけり出しているの、すぐ居場所の分る軽く桃色味を帯びた灰色、無毛の動物。駱駝が其の上に坐りでもすると下からかぶりつくと言われる。東アフリカ特有の動物で、英名Naked Mole Rat 学名Heterocephalus glaber

砂を入れた缶の中で色々な草や根を与え飼育したが、成功しない内に任期を終った。

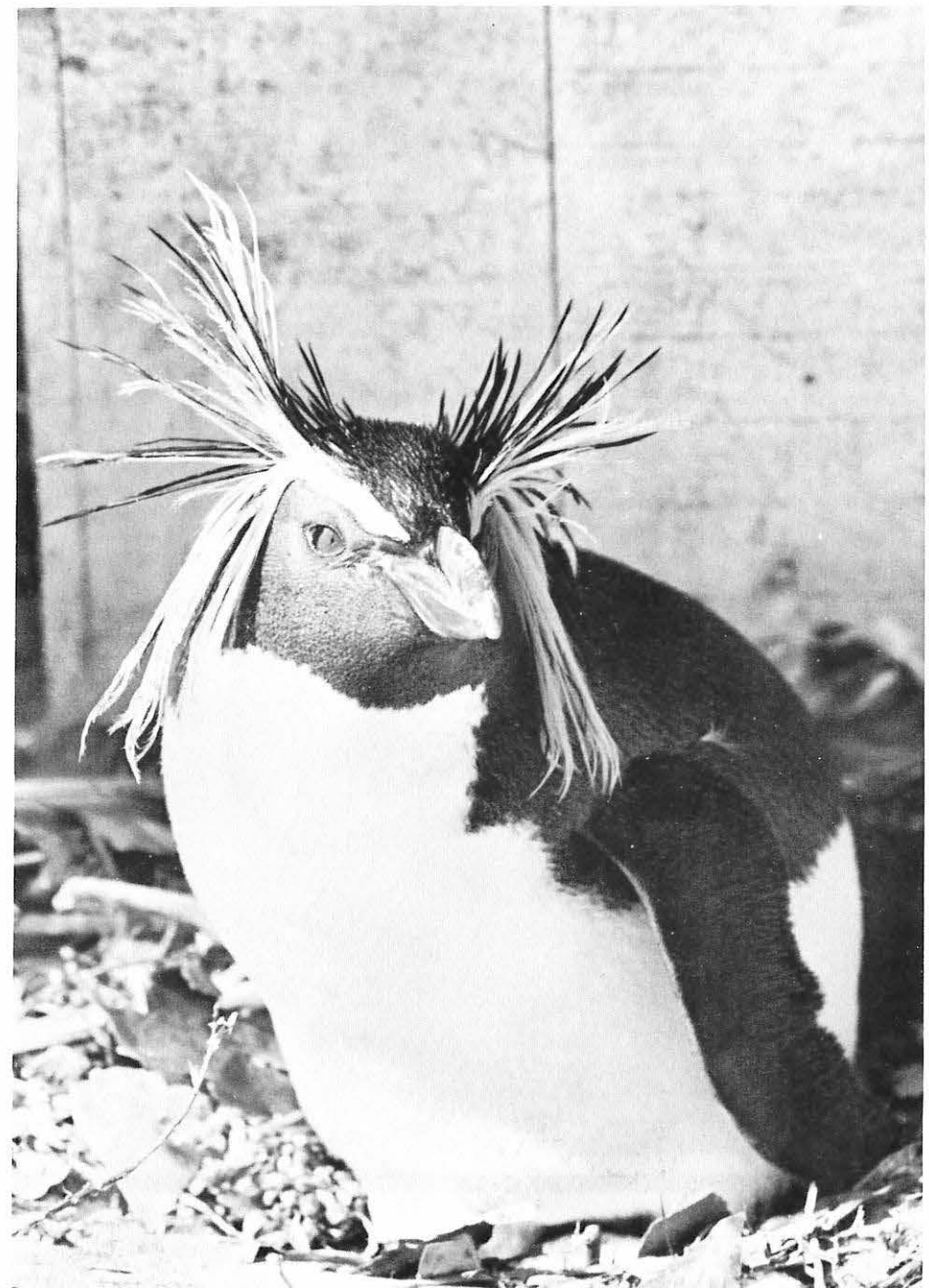
前国連F. A. O. 獣医官 獣医学博士(病理、寄生虫学)

なきごえ4月号もくじ

動物と私	2
イワトビペンギン	3
動物園グラフ	4・5
思い出の大阪の動物たち	6・7
天王寺のどうぶつたち(3)	8・9
動物相談室(13)	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“オセロット”
南アメリカが原産の美しい動物です。
昨年9月に入園しました。
大変おとなしいめすで、時々飼育係と散歩にも出ます。



“イワトビペンギンの抱卵”

動物園グラフ

“動物園にくる野鳥”

都会の中のミドロのオアシスでもある動物園には、檻や、かごの中の動物の他にいろいろな鳥たちも訪ねてくれます。

冬の間を訪れた野鳥たちの一部を写真で御紹介しましょう。



ヒヨドリ

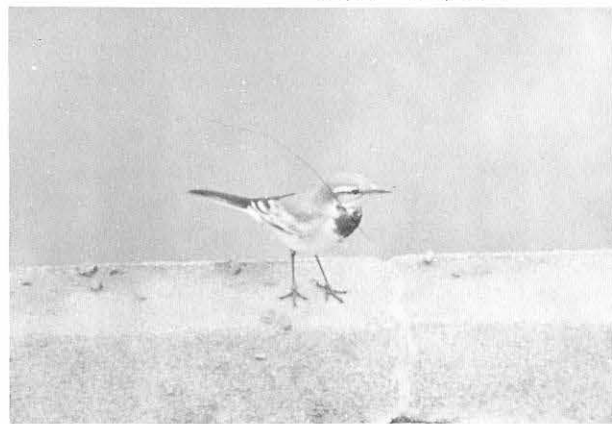


ツグミ



キジバト

セグロセキレイ



カワラヒワ



モズ

ムクドリ

2・3月の動物園日記

- 2/26. 研究室で治療中だったイノシシのメスの経過が良好なので、イボイノシシの隣に仮設した収容場に移しました。
水きん放養舎のキジ、水鳥類に今冬2度目のニューカッスル生ワクチンを投与しました。
- 27. マレーグマの老オスの爪が伸び過ぎているので、麻酔銃で麻酔して爪を切りました。
- 3/1. イワトビペンギンがもう1ヶ産卵して計2ヶになり、本格的に抱卵を始めました。
クロヒヨウが1頭生まれました。

- 2. ミケリスが1頭死亡しました。
- 3. 趾瘤症で治療中だったカタジロワシがすっかり良くなって小猛きん舎に移しました。
- 4. エチオピアライオンが出産しました。(2頭)
- 5. 近畿ブロックの獣医師並びに飼育技術者研究会が阪神パークで行われました。
- 7. 2月27日に入ったファンボルトペンギンの1羽が呼吸音も荒く元気がないため、研究室に隔離し治療を始めました。
- 9. クロクビコウが左趾から出血し、跛行しているので餌に薬をまぜて与えています。

- 10. キツネが1頭生まれましたが惜しくも死産でした。
- 11. 3月1日に生まれたクロヒヨウの仔の雌雄を見定めるため親を離してみたところ、仔の下顎部にクルミ大の膿瘍ができており、毎日抗生物質の注射をすることにしました。性別はオスです。
- 14. アライグマのメスが上顎の歯ぐきをひどくはれあがらせて化膿しているようなので、研究室に引き取って治療を始めました。
- 16. インドヤマアラシの歯がのび過ぎているので切ってやりました。
- 17. 研究室で治療中だったファンボルトペンギンの経過

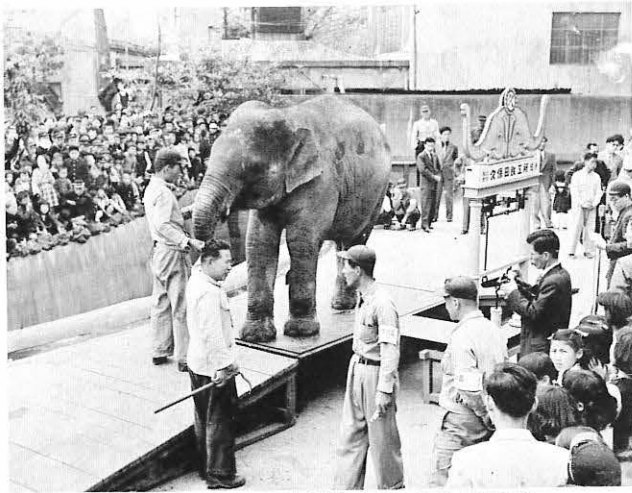
- が良好なのでペンギン舎に戻しました。
- 18. 仲間に咬まれて衰弱していたメガネカイマンが手当の介なく死亡しました。
- 19. 治療中のクロヒヨウの仔がおしくも死亡しました。
- 20. ヌクテが昨日出産しましたが(オス1、メス5)内3頭を人工哺育することにしました。
ジャッカルが出産しました。
- 21. フクロウが卵を2ヶ産んで抱卵しています。
ピューマが交尾しました。
- 22. 親につけていたヌクテの仔3頭と人工哺育の仔1頭が惜しくも死亡しました。

天王寺のどうぶつたち (3)

ゾウ ②

昭和25年4月13日ごろ1時に大阪港についた「はる子」をどうぶつえんのおじさんたちは14日に自動車でむかえにゆきました。「はる子」はまだ3才、せの高さは150cmというチビちゃんゾウでした。ふるさとのタイから17日間の船旅のとちゅうで、あらしに会ったり、おなかをこわしたりしましたが、もうすっかりよくなって、大阪についたときには、

とても元気でした。元
 気すぎて、タイから
 「はる子」といっしょ
 にやってきたゾウ使い
 のブラチャーンおじさ
 んに「ハワ・ハワ・ダ
 イ・ナー」としかられ
 るくらいでした。



ぞうの目方を計る会 昭和30年頃

「はる子」は車でど
 うぶつえんまではこばれました。「はる子」が通る
 どうぶつえんまでの道すじには近くの何千人という
 小学生が日の丸のはたをふって、「はる子」をむか
 えました。その子供たちの人波はえんえんと1キロ
 もつづいていたそうです。

ごろ5時30分、港からゆっくり「はる子」をはこ
 んできた自動車はようやくどうぶつえんにつきました
 ました。ここにも1万人近い人々が黒山のようにあつま
 っていました。みんなはくしゅをしたり、かんせい
 をあげたり、はたをふったりして「はる子」をかん

げいしました。大阪にゾウがいなくなって7年。み
 んなほんとうに首を長くして「はる子」をまっていた
 のです。

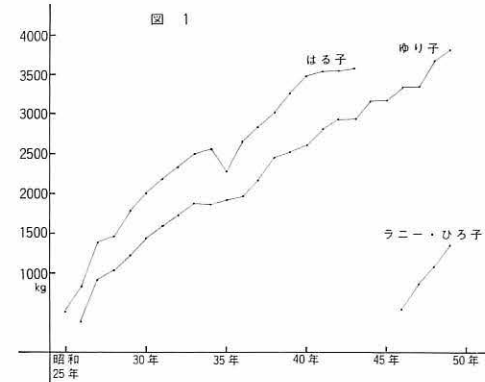
「はる子」がどうぶつえんにきて半月たった5月
 5日の子供の日に「はる子」の体重をはかってみま
 した。まだ3才でせの高さも150cmしかない「はる
 子」なのに体重は503kg、みんなの20人分位の体重
 でした。どうぶつえんのおじさんたちも「さすがに

陸の王者、ゾウの子供
 だなあ」とかんしんし
 たことでした。

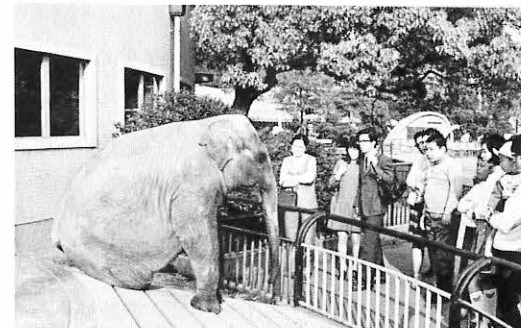
「はる子」がどうぶ
 つえんに来て2ヶ月た
 って、こんどは「ゆり
 子」がやってきました。
 やさしいどうぶつえん
 のおじさんたちが「は

る子」がひとりだとさびしいだろうと、はる子と同
 じタイからもう1頭の子ゾウをつれてきてくれたの
 です。1才半の「ゆり子」は「はる子」よりももっ
 とチビちゃんでした。せの高さは110cm、体重203
 kg、と「はる子」の半分もありませんでした。でも
 やはりとても元気でどうぶつえんにつくとさっそく、
 さとう水を牛乳ピンに27本、リンゴ20コ、パン6コ、
 バター半ポンド、にんじん7本、さつまいも7本、
 おにぎりをおなべに3パイ、ミルクを9本、これだ
 けをたった1日でたべてしまいました。いくら1才

半のこどもでもさすがにゾウのこどもです。みんな
 の8人分くらいも体重があったのですから、これく
 らいペロリとたべてもおかしくないわけですね。そ
 れから「はる子」も「ゆり子」もみんなにとてもか
 わいがられながらズンズン大きくなりました。



グラフをみてください。「はる子」では1年で
 575kgもふえた年があります。「ゆり子」でも508kg
 という年があります。さすがに「陸の王者、ゾウ」
 ですね。「はる子」は大きくなって体重をはかれな
 くなってしまいました、「ゆり子」から比かくすると
 今では4000kgははるかにこえていていると思います。「は
 る子」は今年28才、「ゆり子」は26才になります。
 ゾウは大体50~70年のじゅ命ですから人と同じ位で
 す。だから「はる子」も「ゆり子」ももうおムコさ



ラニー・ひろ子、仮小屋住い

んがほしいとしごろです。

さてその4000kgもある「はる子」と「ゆり子」の
 おしょくじですが、それはこんなメニューです。

ジャガイモ	10 kg
サツマイモ	6 kg
牧干草	60 kg
ワラ	40 kg

合計すると116kgにもなります。みんなの4~5
 人分の重さのしょくじを1日でするのです。体重が
 4000kgもあるんですからこれくらいたべないとおな
 かがすいて体がもたないんでしょうね。

さて、今一ばんのチビちゃんは「ラニー・ひろ子



先達ゾウと一しょに目方を計る会

です。「ラニー・ひろ子」のことは、また来月お話
 しましょう。

(つづく)

(飼育課 長 瀬 健二郎)

思い出の大阪の動物たち

尼崎 斐呂詞

大阪の船場という所はソロバンで明け暮れるという商人達の集落であった。私はこの地で少年時代をすごしたのである。明治の末から大正十一年まで、その頃に身近かに見た生きもの達と船場の思い出の一面を書いてみよう。イヌ、ネコ、ネズミ、イタチ、コウモリ、イモリ等と大型動物にはウシ、ウマがある。イヌは放し飼いが多くて犬仲間のケンカや交尾期の犬達を囲んで人垣ができ笑や迷論の花が咲いた。当世は飼犬条例ができて、犬達の自由外出が制限され運動不足のイヌが増えている。大正時代にも大型の洋犬の背に赤色のジンベを着た小ザルを乗せて町中を宣伝広告した商人があつた。商売は忘れたが、犬の腹巻の文字は犬猿商会とおぼえている。

ネコはシャムネコやベルシャネコという高級種は無かつた時代で三毛ネコぐらいが珍重されていた位だつた。スペインのクロネコというのは昭和に入ってから舶来品ではなかろうか、電波で大あばれした黒猫のタンゴなる歌は、魔性のネコにふさわしい出来事であつた。当時の家の建て方はネズミ天国の様なものでネズミ達は人間生活を荒らし放題であつた。木製品時代のため殆んどに菌型がつけられた。

恐いペスト流行もあり、網かごやパチンコを仕掛けるのが番頭さんの日課で獲物は交番へ、懸賞もついていた。殺鼠剤ネコイラズを蒸しイモの中に入れ番頭さんが丁稚どんを使つて、家中の要所に仕掛けていた。現今でもネズミだけは増えているようだ。夏の大掃除は恒例の行事、時たまイタチを追いつての騒動も珍しくはなかつた。隣家の番頭さんが掃除の最中に大声をあげた後、顔色が青くなつてい。聞けばイタチに一発をやられたという。イタチは人間の味方と思つている人も多く番頭さんの事件は出会い頭でイタチの方が切端まつたからであろう。しかしイタチは何を食つていたのだろうか。

夕方の町内をコウモリが沢山飛び廻つていた。商家の一日が終り店先きの道路は美しく掃除をされ打

ち水が撒かれて夕涼み用の床机が各所にならび将棋盤盤や碁盤が置かれて自称迷人が、待った将棋などをやっている頭上をコウモリがヒラリと器用にかすめながら飛んでいた。コウモリがいたということは蚊の発生源があつたことになるが池や水溜りのない所であつた。庭にはイモリが見られ壁にとまつているのを指で差し示していた所、年寄りに指がくさるぞと叱られたことがある。どうして、こんな話があるのか今日になつても分らない。大型荷物は牛車や馬車で運搬されていた。大八車は人間が肩引きをかけて玉の汗を流してウシやウマに負けてたまるかど頑張つていた時代、大きなウシをコッテ牛と呼び、牛車の通つた跡には牛フンの山がならんでいたが之をフン公害だと、いう人も無かつた。日本にフンを燃料に使う習慣があればとも角、片付ける人もないままに、いつかは雨にたたかれて分解して家の前の溝に流れ込み牛フンも馬フンも消えていったのである。哀れなものはウマ、非力のために炎天下にダウンして頭に氷、口にも氷で道路でのびていた。あるウマは荷物が重量で動かない、非情な馬方の罵声とともに綱でしばかれ、尻にコン棒の雨、恐怖におのっていたウマの目が忘れられない。しかし比の様な状景は当時では珍しいものではなく馬方にもノルマが課せられていたのであろう。愛情を没却せしめたものはゼニである。機械化が進みウシやウマはトラックに変身していった。だが、長年月にわたる動物虐待に因果応報があつたとしても当然といえる。それが自動車排気ガス公害となって現代の人間の生命に影を落している。同じウマでも粹なグリーンに乗馬ズボンの騎馬巡査を乗せて群衆整理に出動して、大きな馬ケツで人間共をタジタジとさしていたウマも居た。鳥類ではスズメ・カラス・ハト・ニワトリがある。今みるスズメはドス黒く汚れているが、当時のスズメは絵の様に地味でもサッパリ清潔であつた。都会性があるらしく、生活能力の強い小鳥で

ある。これと反対の立場のトリにカラスがある。以前是一群のカラスが屋根の上の物干台にズラリととまり子供心にも異様な気味悪さと威圧感をうけたことがある。人の死を予知する鳥と聞いてはいるが、その当時、こんな時には年寄りが、誰かが死ぬと、つぶやいていたのを忘れてはいない。現在、松原市に住んでいるが、カラスを見ることは珍しくなつてい。カラスは利口な鳥ゆえに人間地帯に災害があることを予感して遠ざかつたのかもである。ハトは南・北の御堂さんが本據地になつていて多数の群が参詣客のエサに集つていた。ハトポッポの唱歌でハトへの愛を教えられた子供の頃に比して今ではハトの人気は下降するばかりフン害や細菌媒介の元兇として、各地で追放のウキ目に会つてい。ハトの唱歌や遊戯を習つた船場幼稚園、ハナ、ハト、マメ、マスで始つた船場小学校はともに廃止され、船場の顔は紅毛人の如く変り果て、最早や故郷といえるものでない。ニワトリについては商売柄で飼つてい家はなかつたが、カシワ屋があつたので主人がニワトリを解体している間、ハチの子を顔のまん中にぶら下げて感心しながら見ていたらしい、おかげで主人と仲良しになり、これが心臓だ、これは砂ズリだと、理科の様な勉強ができた。

ツバメも狭い道路を飛んでいた。商家の戸締りは嚴重だつたから、農家の様に屋内に営巣するというはなかつたし、ネコにおそわれる軒付近には、この用心深い鳥は見向きもしなかつた。初夏の風物詩のキンギョ屋がノンビリした売り声で町内を流して来た。天秤棒にブラ下つた桶にはキンギョ、ヒゴイ、メダカも入つてい。売り声に誘われて、コイさん、ご寮はんの出番となりキンギョの品定めが始まる。華やくだ昼下りである。夕方の風は風リンに音をあたえ、縁側のガラスの鉢にはキンギョが紅い裾を引き、庭石の上では一家団らんの花火遊び、星が輝いて散り、末はヤナギとなつて消えてゆく、商

家といえども夕方以後には楽しさが一杯であつた。

ホテル売りも懐かしい景物である。青白く光る細長い袋を、いくつかぶら下げた荷台、ホテルかごを手に提げたときの嬉しさは格別だつた。阿呆がいて宴会の後で座敷にホテルを撒いたら男があがると言つたとか、今日ではこんな暴挙はご法度ものである。当時はグロテスクなカブト虫の幼虫は売つていなかつた。現代っ子はカブトムシが死んだときに、電池が無くなつたと親に言つた話がある。昔の腕白小僧にはご立派な学はなかつた。小学校の遠足は中之島公園が淀川河畔という時代、一家揃つて天王寺動物園見物、本町二丁目からチンチン電車、車窓からの町の風景が楽しかつた。堺筋を南へ恵美須町で下車、新世界に目を見張り、通天閣を見上げて、天王寺動物園へ、思い出のトップスターはゾウ君である。山の様な巨体を前後にゆすり、長い鼻が輪切りのサツマ芋を器用に拾つて、口中へ印象が深かつた。サル舎の面白さも忘れ得ないものがある。動物園のサルにはノンビリした処がある。商家の正月は店の間に金屏風をひろげて赤毛せんを敷いてある。太鼓の音が聞こえて一匹のサルが座敷に逆立ちをする。面白いショーではあるが、サルが目色顔色を眺めているのを、コワさ半分で見つていたものである。サルは動物園で見つ方が楽しい。幼稚園で足柄山の金太郎の歌で遊戯を習い、絵本では金太郎とクマの角力の絵が、動物園では目の前に角力をとつたツキノワグマが愛敬を振る舞つてい。金太郎は強いと思ひこまされた一幕であつた。孔雀の美しい尾羽根が半円型に開らきブルブルと動くごとに宝石が輝いた様であつた。動物園が近代化しても子供心に豊かな夢を与える効果は今も昔も変りがない設備を良くすることは当然であり、動物の貴重さを愛情もふくめて子供達に教える楽園でありたいものである。

(生きもの趣味の会会員)

動物相談室 (13)

前回に続いて今回も鳥獣保護関係の問合せを特集してみました。

1. WWFとは何ですか？

野生動物の保護に関係する機関を教えてください。
WWFとはWorld Wildlife Fund 「世界野生生物基金」の略で、世界各地で動物や植物などの自然破壊により失われゆく自然を守るために必要な資金を集めている団体です。1961年にスイスで発足して以来、世界各国に支部を設け自然保護に力をつくしています。日本にも世界野生生物基金日本委員会 WWF J があり、WWF に協力して世界の野生動物の保護に力をつくすと共に、日本の野生動物の保護に協力しています。このWWF 運動には一般の人たちも多数会員として参加しており、日本各地の動物園にもパンダの募金箱を設置して募金運動を展開しています。天王寺動物園でも事務所の横に募金箱を設け、入園者の方々に募金をよびかけたり、WWF チャリティーバザールなどを行ったりしています。

その他、自然保護に関する団体としては、WWF の母体ともいえるべき国際自然保護連合(IUCN)が世界的な機関としてあります。

日本国内にも各地に野生動物の保護や調査などを行っている団体が多数あります。例えば日本鳥類保護連盟や日本野鳥の会、日本自然保護協会、日本国立公園協会、日本動物園水族館協会、日本動物愛護協会などの全国的な組織や、各地方の特色的な動物の保護団体などです。各地方にある保護団体としては、釧路、根室、阿寒などにある丹頂愛護会、新穂トキ愛護会、但馬コウノトリ保存会、志津川愛鳥会、岩手県のイヌワシ保護団体、鹿児島県の鶴保存会、幡多の自然を守る会(ニホンカワウソ)、アマミノクロウサギ保存会、北限のサル大間あしの会、大阪南港の野鳥を守る会、日本カモシカセンター、東京農工大の自然保護研究室、シカ調査会など枚挙にいとまがないほど多くの自然保護団体があります。これらの諸団体は環境庁、文化庁からの援助を始め、WWF からの配分金や地元での援助金、寄付金などで保護対策や調査、あるいは飼料の購入などを行っているのですが、資金が少いたためまだまだ充分ではありません。野生動物の保護のためには、より一層の国民の理解と援助が必要でしょう。

2. レッドデータブックについて教えてください。

レッドデータブックとは、世界各地で絶滅の危機にひんしている動物や、保護しなくては絶滅のおそれのある動物を一冊の本にまとめて、国際自然保護連合から発行しているものです。このレッドデータブック(Red Data Book)は5つのランクに区分されており、オ1のRed Form(赤色)は全力をつくして保護しなければ絶滅すると思われる動物で、日本のトキもこのグループです。オ2のAmber Form(こはく色)は保護してやれば絶滅しないですむ動物でオセロットやジュゴンなどがそうです。オ3のWhite Form(白色)は前の2グループほど危機感はないがまれにしか見られない動物でジャイアントパンダやコビトカバがこの群に入ります。

オ4のGreen Form(緑色)は一度は絶滅の危険性があつたがどうか勢力をもち返して危機を脱した動物でヨーロッパバイソンなどがそうです。

オ5のGrey Form(灰色)は一応、数はたくさんいて余裕はあるが保護の必要のあるもの、あるいは生存しているかどうか全く不明のものグループです。

レッドデータブックはこのように5つの色で5段階に区分されており、国際自然保護連合が毎年この5段階の位置づけを決定しています。

レッドデータブックで警告している、将来絶滅のおそれのある動物は哺乳類 294種、鳥類 281種、ハ虫類86種、両生類27種、魚類79種(1972年)です。

ここ400年ほどの間に哺乳類で36種、鳥類で約100種もの動物がすでに絶滅しており、この地球上ではもう2度とその姿がみられないという非常に残念な歴史があるだけに、滅びゆく動物をなんとか人間の手で保護増殖したいものです。

当園で飼育している動物の中でレッドデータブックにのっているものは次の動物です。

アカカンガルー、ハイロカンガルー、キノボリカンガルー、ダマワラビー、フクロギツネ、シシオザル、ボウシテナガザル、オランウータン、ゴリラ、オオアrikイ、パンガルトラ、クロサイ、キーウイ、チャイロカケイ、カラヤマドリ、ミカドキジ、マナヅル、ナベヅル、タンチョウヅル、ヨウスコウワニ



ナベヅル (飼育課 宮下 実)

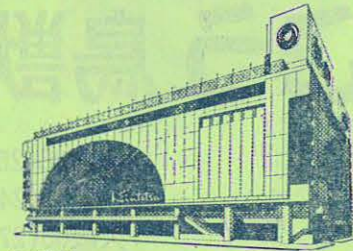
夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



上本町近鉄 TEL.(06)779-1231

アベノ近鉄 TEL.(06)624-1111

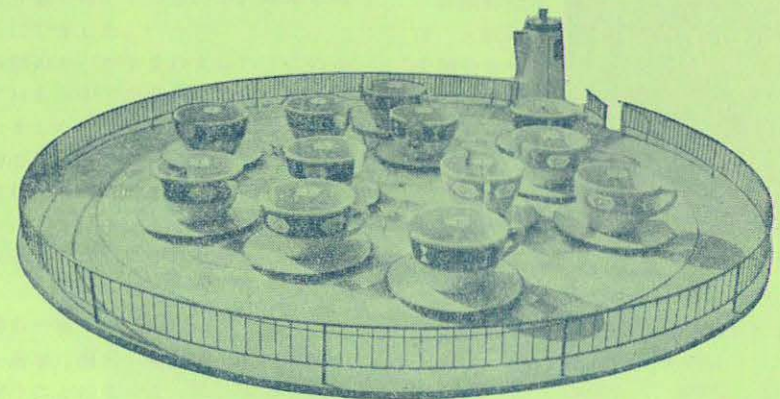
奈良近鉄 TEL.(0742)33-1111



東京近鉄



遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娛樂 株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

世界の猫、小鳥と愛玩動物専門店

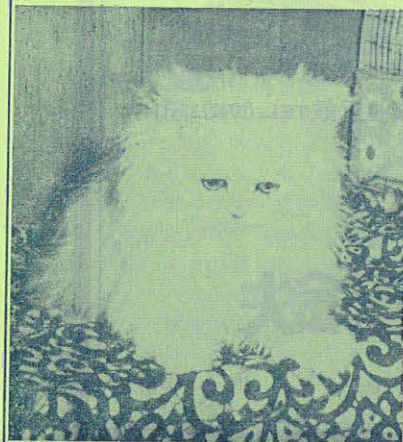
はく製製造卸・直輸入動物取扱い店
各国、犬種・シャム猫・ペルシヤ猫

大阪市南区心斎橋 1丁目38

⊗ そごう 鳥獣部

そごう百貨店屋上 直通TEL

大阪06(252)5497
(241)9146
大阪06(271)2221
内線 2554



大阪動物園 寄贈動物 記録簿 製作 会社



株式会社 動物園 寄贈動物 記録簿 製作 会社
〒550-0001 大阪市南区心斎橋1丁目38番地
TEL 06-252-5497

動物園ニュース

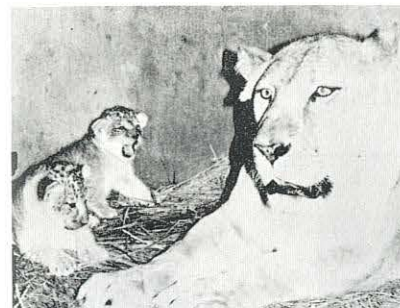
☆マレーグマの爪切り

3月27日、マレーグマのオスの爪切りを行いました。このマレーグマは30才近い高齢で、運動不足のためか爪が非常に伸びすぎてしまい歩行困難な状態になっていました。当日はまず麻酔銃で麻酔した後、顔に網をかぶせて骨を切るハサミで爪を切ってやりました。おかげで今ではすっかり歩きよさそうです。



☆ライオン、ジャッカル、カバの出産

春のおとずれと共に、動物園では出産ラッシュが始まっています。3月4日にエチオピアライオンが2頭誕生しました。このライオンは万国博の際、エチオピア政府から寄贈されたもので、今回が4度目のお産でした。母仔共順調に育っています。



3月20日にはジャッカルが出産しました。(オス2頭、メス3頭)この母親は昨年もうまく育てているので、今年も母親にまかせることにしました。

3月28日には待望のカバが生まれました。このカバは過去3回いずれも水中で出産していますが、今回は陸上で出産しました。カバは水中で出産するのが普通なので一時心配しましたが、そのうち母仔共水中に入り、哺乳状況も良好です。

その他クロヒョウ、キツネ、チョウセンオオカミなどの出産がありましたが、いずれも惜しくも死亡しました。

☆選挙啓発に動物も一役

近づく地方統一選挙に備え、動物園の動物もその選挙啓発に一役かうことになりました。4月6日に園内でチンパンジー、オランウータンの模擬選挙が行われるのですが、そのための衣装あわせと採寸が3月18日行なわれました。デパートの店員さんに当日は動物園まで出張してもらい、オランウータンの

ユキ(7才)とチンパンジーのサクラ(3才)のサイズを測りました。4月6日には赤地のフェルトの陣羽織を着たユキとサクラの模擬選挙風景がみられることでしょう。



☆動物慰霊祭

おひがんの日の3月21日、動物慰霊祭が当園でしめやかに行われました。当日は動物園職員全員と動物代表としてキノウマのアカ(22才)とチンパ



ンジーのサクラ(3才)がそれぞれ参加し、慰霊碑の前で過去になくなった動物たちへもくとうして祈りをささげました。

☆新着動物

シマアジ2つがい、フンボルトペンギン2羽、コサイチョウ2羽、コガモ1羽、リュウキュウガモ2つがいなどが新たに動物園に入園しました。コサイチョウはわりと珍しいサイチョウで、これで当園にはオオサイチョウ、サイチョウ、ナナミジサイチョウ、コサイチョウと4種類のサイチョウがそろいました。

寄贈動物では、大阪動物愛護会からカシヨクベリカン1つがいの寄贈を受けました。



(南園のアシカ池の隣に展示しています。)

お知らせ

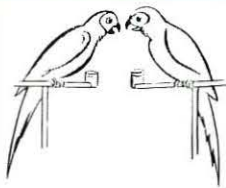
4月1日から駐車場料金が下記のように変わりました。

	現行	新料金	
バス	300円	500円	2時間まで
	150円	250円	以後1時間超過ごと
乗用車	200円	300円	2時間まで
	100円	150円	以後1時間超過ごと

◎日曜祭日は駐車場が満車になります。マイカーをやめて他の交通機関でご来園下さるようお願い致します。

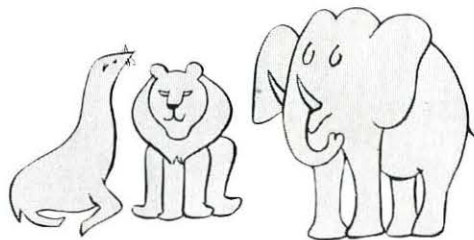
◎4月は21日(才三月曜日)が休園日です。

なきごえ 昭和50年4月15日発行 (毎月1回15日発行) 第11巻第4号(通巻117号)
 編集/大阪市天王寺動物園 千543 大阪市天王寺区玉水町2
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)
 振替口座 大阪 37823



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各140cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈 小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・田上 勝・中川 道朗
 農本 武志・深井 和美・東 政宏・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎 〉